

クボタ空調株式会社 栃木工場

1.事業概要

住所	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地 28-1
従業員数 (協力会社)	310名 {2021年5月現在}
敷地面積	32357㎡
事業内容	当工場は、産業用大型(セントラル式)/コンパクト型空調機器・ヒートポンプ空調機器の設計・開発及び製造をしている工場です。 ・暑熱対策向け:エリア空調機《10HP・最大130㎡/minの風を放出》 ・建物のZEB化対応:調湿外気処理ユニット《第56回空気調和・衛生工学会賞「技術賞」》 ・組立式アルミフレーム構造コンパクト型空調機《軽量・高防錆》等を生産しています。



主要製品

空調機器



ユニット型空調機



コンパクト型空調機



ヒートポンプ空調機



調湿外気処理ユニット



工場向けエリア空調機



農業用HP空調機(ぐっぴーバズーカ)

工場変遷(沿革)

1970年	久保田鉄工(株)と米国トレン社の合併会社としてクボタトレン(株)を設立
1980年	久保田鉄工(株)[現(株)クボタ]の完全子会社化(出資比率100%)
1998年	社名を「クボタ空調株式会社」へ変更
2001年	デシカント空調機(温度と湿度を個別制御)生産開始
2013年	ヒートポンプ付空調機生産開始
2013年	農業ビニルハウス用ヒートポンプ付空調機 ぐっぴーバズーカ 生産開始
2016年	エリア空調機/気化式加湿モジュール除菌システム生産開始
2017年	組立式アルミフレーム構造EI型コンパクトAシリーズ生産開始
2018年	調湿外気処理ユニット生産開始

クボタ空調株式会社 栃木工場

2.環境方針

ISO環境方針

基本方針

当社は、空調機器の開発・設計・製造・出荷・サービスの全てのプロセスを通じ、ますます深刻化する地球環境問題などに対し、「地球規模で持続的な発展が可能な社会」「企業と市民が相互信頼の基に共存する社会」の実現をめざします。環境に配慮した企業活動・製品・技術・サービスの提供を通じて、地球環境・地球社会の保全に貢献し、快適な環境の実現を当社の使命として取り組んでゆきます。

実施事項

1. 当社の開発・生産活動及び製品、サービスに関連する環境側面を把握し、適切な環境マネジメントシステムを構築することにより、継続的な改善に努めます。
2. 当社の開発・生産活動及び製品、サービスの環境側面に関連する法的要求事項、及び当社が同意するその他の要求事項の遵守に努めます。
3. 当社は環境影響の軽減を図る目標を定め、その達成に努めます。
重点実施項目は次の通りとします。
 - (1) 省資源、省エネルギー活動の推進
 - (2) 廃棄物のリサイクルと削減活動の推進
 - (3) 有害化学物質の代替化、又は削減活動の推進
 - (4) 環境に配慮した物品の使用及び製品の開発・設計の推進
4. 地域の環境美化・環境啓発活動に積極的に参画し、地域社会との共生に取り組めます。
5. この環境方針は文書化し、全従業員に周知徹底致します。
6. この環境方針は、社会への責任を示すために、一般の人の求めに応じて入手可能なものとします。

2016年 1月 8日

クボタ空調株式会社

代表取締役社長 岡野 政治郎

ISO認証取得状況					審査機関
1	2004年	ISO14001	: 1996年版	認証取得	JQA
2	2005年	ISO14001	: 2004年版	移行審査終了	JQA
3	2007年	ISO14001	: 2004年版	更新審査終了	JQA
4	2010年	ISO14001	: 2004年版	更新審査終了	JQA
5	2013年	ISO14001	: 2004年版	更新審査終了	JQA
6	2016年	ISO14001	: 2004年版	更新審査終了	JQA
7	2017年	ISO14001	: 2015年版	移行審査終了	JQA
8	2019年	ISO14001	: 2015年版	更新審査終了	JQA

クボタ空調株式会社 栃木工場

3.サイトデータ(2020年1月～12月の実績)

INPUT

エネルギー使用量	原油換算 KL	871
水使用量	万m ³	5.9

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,599
----------------------------	-------------------	-------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		電着乾燥炉		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
	SOx	m ³ N/h	K値規制	0.64	0
	NOx	ppm	濃度規制	230	5
	ばいじん	g/m ³ N	濃度規制	0.2	0.005

排水量	合計量	万m ³	5.8
汚濁負荷量	COD	kg/年	—
	窒素	kg/年	—
	りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	末端排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.8, 8.6	7.4, 7.7
		BOD	mg/l	30	5.7
		COD	mg/l	—	—
		窒素	mg/l	—	—
		りん	mg/l	—	—
		六価クロム	mg/l	0.1	ND
		鉛	mg/l	0.1	0.01
		COD総量規制値	kg/日	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—
		下水道		pH	最小値, 最大値
BOD	mg/l			—	—
COD	mg/l			—	—
SS	mg/l			—	—

廃棄物排出量	t	189
再資源化率	%	98.2

VOC排出量	t	7
--------	---	---

PRTR法対象物質集計結果

単位: kg/年

政令 No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	1,708	0.0	0.0	0.0	0.0	190
71	塩化第二鉄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80	キシレン	3,765	0.0	0.0	0.0	0.0	418
300	トルエン	1,587	0.0	0.0	0.0	0.0	723
448	メチルピンス(4, 1-フェニレン) = ジイソシアネー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上の物質について集計

クボタ空調株式会社 栃木工場

4.環境トピックス

1) 環境配慮性の高い製品の開発製品化

- ① エリア空調機 : 工場・作業場・倉庫・体育館等、施設内の暑熱対策機
⇒10HP(馬力)で最大130m³/minの風を放出 / 高効率ECファンを搭載 《低消費電力》
- ② 調湿外気処理ユニット : 室内換気に必要な外気を高効率で処理できる調湿空調機
⇒建物用ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化対応小型デシカント空調機 《省エネ》
- ③ アルミフレーム構造空調機 : 軽量化(現行機の約25%) / 高防錆力・耐久性を実現
⇒リニューアル物件に容易に対応可能 / 高効率プラグファン組込 《省エネ&低騒音》

2) 気候変動への対応 : CO2削減・エネルギー使用量の削減

- ① 栃木工場内照明LED化⇒100%施工完了
- ② 変電所の更新(変圧器をアモルファス化)による消費電力の削減

3) 水資源の保全 : 水使用量の削減 / 排水の管理

- ① 排水処理設備増強工事⇒調整槽・砂ろ過槽・活性炭塔の増設/汚泥槽等の更新
- ② 生活浄化槽更新⇒250人槽→300人槽(処理人数定員400人)
- ③ 空調機アルミフレーム化(塗装レス)による水使用量の削減

4) CSR活動 : 環境リスク低減活動 / 顧客満足度向上の取り組み

- ① 立会棟新設⇒延床面積525m² (2020年12月)
- ② 安全衛生環境委員会(安全・環境パトロール)⇒1回/月の開催(労使参加)
- ③ ドレンパン発泡職場(建屋)新設による作業環境の改善(2020年12月)

5.環境コミュニケーション

[地域との共生活動記録]

・地域美化活動 《毎月1回実施》

名称 工場周辺の清掃活動
参加人数 15名程度/毎月

・春の交通安全活動の参加 《2021年5月》

名称 宇都宮工業団地内交差点の立哨活動
参加人数 2名

